

ご挨拶



岩手県立軽米高等学校同窓会員の皆様方におかれましては、国内はもとより世界中でご活躍のことと心からお喜び申し上げます。

また、日頃より同窓会ならびに母校の運営にご協力、ご支援に対しまして心から御礼申し上げます。

今年度も新型コロナウイルス感染拡大に伴い同窓会総会を中止、常任理事会を総会に切替て審議頂きましたが、役員改選については総会を開催できるまで任期延長をして対応することで決定頂きました。

また、同窓会東京支部、盛岡支部、九戸支部、八戸支部ともにコロナ感染症の拡大により、残念ながら総会の開催が見送られておりますが、東京支部からはすでに来年度の支部総会のご案内を頂いております。今年こそは感染症の終息により、各支部の皆様と元気に会えることを楽しみにしております。

さて、周年記念行事の一環として発行してまいりました同窓会名簿をこのたび、特別に発刊することになり、コロナ禍の中でご負担をお掛けしている事とお察し申し上げます。平成29年4月に発行致しましてから5年を経過し、名簿作成会社より、データ維持管理経費を支払う方法と、新たに名簿発行をするかの二者択一を迫られました。名簿発行すると同窓会は一切の経費の支払いの必要がないことから、この方法を選択せざるを得ないことになりました。生徒数の減少によりまして同窓会会計は非常に厳しく、経費節減のため同窓会報もPTA会報と合冊発行している状況であります。

当同窓会は令和10年に創立80周年を迎えることから定期的に同窓生名簿を更新する必要があるため、この作業は調査や編集に多

くの時間と多額の経費が掛かることとなります。同窓生の機運を醸成し、円滑に記念事業等の実施及び情報共有を図るためにも、会員名簿作成の意義についてご理解を賜りますようお願い申し上げます。

母校の近況に目を向けますと、軽米中学校卒業生数は年々減少傾向にあり新年度の入学率は5割を切るような厳しい状況が伝えられています。このような少子化の中で県立高校の再編計画が進められており、県内では地元高校の存続を願う官民一体となって特色ある高校支援を打ち出しております。軽米町におきましても様々な支援策を講じて頂き、八戸市方面の通学支援に取り組み、町外からの入学生確保にも力を入れ、近隣市町村からの入学生に対しても通学支援の拡大を図って頂いております。町当局に対し同窓会を代表いたしまして深く感謝いたしますと共にさらなる支援の拡充をお願いして参る所存でございます。

今後、数年で軽米高校の存続が危ぶまれる事態が想定されず。高校の存続が軽米町の生命線であり、高校生の姿が町から消えてしまうことは何としても阻止しなければなりません。町民の皆様方のお力でなんとか、現在の1学年2学級40人以上を維持出来ますよう、町、町民、同窓生の力強いご支援を賜りますよう宜しくお願い致します。

新年度は共に笑顔でお会いできることを切に願うとともに、多くの同窓生皆様のご参加を役員一同心からお待ちいたしております。

結びに、母校のたゆまぬご発展と同窓生の皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、ご挨拶と致します。

同窓会長(第27回生) 松浦満雄

支部会だより

※例年は、各支部総会の様子を掲載しておりましたが、昨年度同様今年度も全ての総会が中止となったため、各支部の会員の方に、高校時代の思い出や近況報告などのメッセージをお願いしました。

東京支部からは、今年度で支部長を後輩に引き継がれる君成田邦雄さんのメッセージと、感染対策を施した上で開催した役員・スタッフの打ち合わせ会などの報告をいただいております。

東京支部「新しい取り組みへ」

東京支部支部長(第21回生) 君成田 邦雄

日頃より、東京支部の活動にご理解とご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

昭和41年5月発足以来、諸先輩の皆様方の継続のご尽力により、平成28年度に発足50年という節目を迎えました。校長、同窓会長、会員の皆様と盛大にお祝いし、歓喜に包まれ、相互の親睦と絆の輪が広がると共に、母校の応援等に一喜一憂し、次の世代に向けて新しい取り組みを考えて行かなければならないことを強烈に感じました。

それからは、毎年の支部総会・懇親会時の貴重なご意見・ご要望を頂戴した事柄を取りまとめ、役員会に諮り、本部事務局に申

上げ、実現の事案等を次の通り報告させていただきます。

○平成28年度 「母校ホームページ」改善要望

平成29年2月3日付4「雪谷の清流」校長並びに同窓会長のご尽力により発行され、母校の生徒教育や部活動の活躍等が「PC・スマホ」等で検索し閲覧できることに、皆様から早急の対応は素晴らしいと感謝とお礼をいただきました。今後とも最新の情報発信をお願いします。

○平成30年度 広報誌「広報かるまい」に母校紹介を要望。

平成31年1月号に「真理の灯台軽高だより」が掲載され、生徒教育や部活動の活躍等が「PC・スマホ」等で簡単に検索し閲覧できることに、皆様から素晴らしいと感謝されています。

参考〈令和2年3月号に東京支部特集掲載〉

○「母校の応援」活動

- ・平成28年度 9月18日 母校の見学申請 13名見学
- ・平成30年度 11月20日 母校創立70周年記念式典に出席
- ・令和1年度 9月15日 母校の見学申請 5名見学、
夕方「流し踊り」8名参加
- ・令和2年度・令和3年度

新型コロナウイルスの影響により開催中止 以上
さて東京支部は、会員の皆様から貴重なご意見・ご要望を運営に反映させながら、「会員相互の親睦と絆」を守り、新しい取り組みとして【活動方針と活動計画】を立案し、傘下の拡大と母校応援をしながら支部発展を目指して参ります。

【活動方針】

- 1 会員と支部役員・スタッフとの連携を図り、支部活動の充実と母校の発展に寄与する。
- 2 近隣地区同窓会との交流を図り、相互に情報交換しながら支部発展を目指す。

【活動計画】

- 1 会員相互の親睦と絆を大切にすため、次の会議等を開催する。
 - ①総会、②役員・スタッフ会、③臨時役員・スタッフ会、親睦会等を随時開催。
- 2 母校同窓会本部、各支部、近隣同窓会等の交流と情報交換を推進。以上

結びに、総会・懇親会の受付名簿や会員名簿の取り扱いにつきましては、個人情報保護法に基づき、「適切な管理」のもとに厳重に保管していることを申し添えます。

どうぞ、地元軽米をはじめ全国各地からの参加を歓迎し、新しい取り組みを披露させていただきたいと役員一同頑張っ参りますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

東京支部

東京支部事務局長（第34回生）

畑澤 康弘

令和3年6月26日（土）57回軽米高校同窓会東京支部・総会及び懇親会。今年こそは開催したいと思う役員・スタッフの意図とは裏腹に、コロナウイルス新規感染者の終息が見られず、2021年6月には東京、関東では新規感染者が横ばいから増加に転じる動きがみられました。昨今の社会情勢を受け、今年度も同窓会東京支部開催予定の総会及び懇親会を、断腸の思いでしたが中止とさせて頂きました。会員の皆様に報告させて頂いたのですが、「こんな状況だったらやむを得ないよね」とか「役員、スタッフの皆さん、準備してたのに残念ですね」とうれしいお言葉も頂戴しました。

東京支部では、中止はやむを得ないことなので、発想の転換も図り、会員はもとより役員・スタッフのモチベーションの維持・継続に努めました。コロナ禍では、役員・スタッフ・同窓会会員のグループライン繋がり・絆を駆使し、軽米高校の学校通信「雪



軽米地域おこし協力隊のメンバーも参加して盛り上がった「かつけを食す会」

谷の清流」に役員・スタッフの少人数で打合せしながら投稿。またこちらは在京軽米会との連携なのですが、地元情報誌『広報かるまい』にて1か月おきに在京軽米会だよりのコーナーに掲載されています。

他に、地元商店の物産展・銀河プラザのご案内・軽米町のおいしいもん案内をして地元を応援しています。東京都中央区にある岩手アンテナショップ「銀河プラザ」では、「かるまいブランド in いわて銀河プラザ」にて、古館製麺所・大黒醤油・尾田川農園・高常商店さんの方々ともお話ししたり懐かしい味をお勧めしました。



物産展の会場で大黒醤油の女将さんと

軽米町の若手ホップ農家である中里直人さんの栽培したホップ「信州早生」を50%以上使用したビールを案内・告知・販促。中里直人さんも軽米高校同窓生。全国の人たちに軽米町を知ってもらえたいと思っています。

今後は、内澤明未さんを応援していきたいと思っています。明未さんは軽米中学校を卒業後、高校は女子バレーボールで屈指の強豪校で知られる下北沢成徳に進学。名門校・下北沢成徳高校で守備の要りベロとして活躍が期待されるホープです。

コロナ感染防止に必要な感染防止策と理解のもと、ワクチン2回接種を条件に、2022年1月15日（土）にかけを食す会・新年会・懇親会・ボーリング大会を開催しました。出席を募った当初は、会場満席の20名越えだったのですが、日に日に新規感染者が急増し更にオミクロン株の拡大により、キャンセルも増えました。一時は開催も危惧されましたが、少人数ではありますが開催にこぎつけることができました。

コロナ禍で外出も自粛気味なご時世、日頃の運動不足解消とばかりに、5名の参加者の皆さん、ほど良い汗が心地よい疲労感。プレー中は「ナイスストライク!」「ナイススベア!」「ナイスカバー」と大いに盛り上がり、素晴らしいスコアの方も、今回は6レーンぐらい使ってやりましようと思ひながら懇親会へ移動しました。

第3回「かけを食す会」・新年会・懇親会には、当初は出席者が集まるかなと不安がありました。少しではありますが感染者数が落ち着いている今やるしかないと決断し募ったところ、遠方軽米町から3名と普代村出身者1名、久慈高校東京支部1名の総勢13名が集い、1月15日の16時から開催しました。今後同窓会も、卒業生の減少などを踏まえ、近隣高校東京支部とのコラボ、また軽米町地域おこし協力隊様とのコラボなど、コミュニティを大事に津京支部は取り組んでいこうと思ひしております。

また同窓会献血倶楽部も、社会貢献を主旨に発足を目指しております。

会場は、渋谷区笹塚炉端座八戸。出席者全員久しぶりの宴会・故郷の料理でしたが、女将さんの気遣いもあり、かけ鍋、郷土料理アラカルト、せんべい汁などに舌鼓。お話もはずみ、あっという間に閉幕となりました。

令和4年度東京支部総会及び懇親会は、日暮里・ホテルラングウッドにて、令和4年6月25日（土）に開催を予定しております。

これからも、会員様との絆、人と人、心と心、繋がっている絆を大切にをスローガンに邁進してまいります。皆様、お友達もお誘いの上、ご参加よろしくお願いたします。

東京支部「柔道一直線」の高校時代

東京支部事務局長(第34回生) 畑澤 康弘

私の高校時代の思い出・イメージはというと、応援歌練習と柔道部(部活)、また高校まで片道8キロを通学したことが頭を駆けめぐります。応援歌練習は、暗記力の乏しい私にはかなり苦痛でした。それでも柔道部に入学したことで、屋上での練習は免れることができたのも事実です。私のクラスには、あまりの恐怖から胃潰瘍になり入院した友達もいました。応援歌練習の語り草は、私が卒業してから8年後の後輩で禁止になったと聞きました。今でこそ、普通の高校では経験できない緊張感・恐怖感・縦社会(?)を経験させて頂き、社会の荒波を乗り越えるために大いに役立ったと思います。

私は中学時代は陸上部に入学していたので、体育会系に興味があり、経験のない柔道部に入学しました。その時の新入部員は15人でビックリしました。また顧問を見て2度ビックリ。国士館出身の和山勇人先生は、まさに熊でした。副顧問、熊谷昭三先生は桜木健一似でした。

当時小柄だった私は軽々量ですばしっこかったため、顧問からは三船十段のようだとべた褒めされたこともあり。気を良くした私は、学校を休んでも部活は出席したり、大けがをしても試合に出たりと、青春は柔道一直線という感じでした。メンタルも、ちょっとやそっとのことでは動じない、素晴らしい基盤を築いた3年間でした。成績は、個人戦インターハイ補欠選手、段位取得は2段を取得しました。団体戦では、IBC杯で先鋒を任せられ引き分け、チームではベスト8に進出しました。今でも同窓会では、当時の柔道着を着て運営をお手伝いしています。

私は出身が長倉だったので、1年生の時は部活が終わって帰ると自宅につくのが20時とかで、疲れ切っていました。冬は冬で自転車通学ができず下宿して通学していましたが、2年生になり原付バイクの免許が取得でき、バイクで通学。それもこれも、無駄ではなかったんだと思う昨今です。

異性に関しては、そこまで手が及ばず、シャイな私は片思いで終わったほろ苦い思い出があります。



軽米高校柔道部のメンバー。前列左から2人目が畑澤さん

盛岡支部

(第33回生) 菅波 進

私は軽米高校を卒業し、現在岩手県警に勤務しております。警察官となった頃は、実家に時々帰省しておりましたが、徐々に帰る機会が減って寂しい思いもありました。県内に居住しながらもなかなか帰省できないでいたところ、先輩から「県警軽米会」の懇親会に声をかけて頂きました。

県警軽米会は、岩手県警職員で構成されておりますが、軽米町出身者や他市町村出身者でも、軽米高校の卒業生であるなど軽米町に縁のある方々です。現在の会員は、現職28名、OB7名の計35名で、約8割が軽米高校の卒業生です。OBには、部長や署長を歴任した方もおります。

初めて県警軽米会に参加した時は、まだ若い頃で軽米出身の先輩をよく知らず、憧れていた方も同じ出身と知り驚いたばかりか、先輩たちに気軽に声をかけて頂き連帯感が強まりました。酒が回れば軽米訛りでふるさと談義に花が咲くなど、地元を思い出す素晴らしい時を過ごしました。それ以来、県警軽米会はもとより、軽米高校同窓生の盛岡支部の総会にも何度か参加させて頂き軽米の絆を深めております。二次会でも、軽米町出身の方の居酒屋に伺うなど、盛岡で軽米を懐かしむ最高の場とさせて頂いております。警察官も転勤族であり、県内各地のほか他県での勤務もありますが、人見知りの私(?)は、見ず知らずの土地で仕事をしている同郷の知り合った時とてもホッとするのです。軽米という繋がりは、私自身の幹となる部分であるので、これからも大事にしていきたいと思っております。

ここ数年は、新型コロナウイルス感染症が全国的に猛威を振るい、変異株がまた流行しだすなど、未だに予断を許さぬ状況が続いております。これまで当たり前のように出ていた懇親会なども、開催が中止されるなど難しい状況ではありますが、いま暫く感染防止対策を進め、機会がありましたら、酒を酌み交わしながら懇親を深めたいと願っておりますので、その際はよろしくお願いたします。

追記 県警軽米会としても軽米高校の発展の一助となれるよう努めて参りたいと思っておりますし、後輩の皆さんが県警職員に採用され、仲間が増えることを期待しております。

盛岡支部

盛岡支部事務局長(第32回生) 木村 久

コロナ禍により、盛岡支部総会は2020年、2021年と2年連続で開催できていません。

2021年3月までオリンピック・パラリンピックに係る業務(聖火リレー・パラリンピック聖火フェスティバルなど)を担当しておりましたが、大会を前に異動し、2021年4月から、岩手県商工労働観光部で、事業者支援や観光振興を担当しております。

私の勤務する商工企画室の予算担当には、同じ町内会(仲町)の若山勝さん、観光・プロモーション室に、東京事務所帰りの日向満さんが岩手県民が県内の宿泊施設を利用し宿泊事業者の応援を行う「いわて旅応援プロジェクト」を担当するなど、部内に3人の軽米高校出身者がいます。また、同じ県庁2階の管財課で、私より1歳若い田端政人さんも働いています。これほど、軽米高校出身者と一緒に仕事することは余り無かったかもしれません。

また、県教委事務局学校教育室で一緒に働いた金濱千明先生が、現在、軽米高校の校長をされ、また以前、軽米高校の校長を歴任された泉悟先生が岩手県教育委員会の教育委員であるなど、軽米高校との縁を感じている次第です。

盛岡支部の会員は、年一度の同窓会で軽米高校出身者のネットワークを広げながら、軽米高校生の活躍と軽米町の発展を願っております。

当方は平成22年度から盛岡支部幹事ですが、次の総会では、幹事を若手に引継ぎたいと考えているところです。

コロナの影響が早く落ち着くよう、基本的な感染対策を徹底しながら、新しい年こそ日常が取り戻せるよう、皆様のご健康とご健勝をお祈りします。

八戸支部

(第26回生) 若山利勝

私は1957年に、大町に兼業農家の3人兄弟の末っ子として生まれました。父は、たばこ組合に勤める傍ら、畑では主にりんごを生産し、少ないながらも出荷する程で、私はよくりんごの木箱作りを手伝っていました。そして「自分は将来大工になるんだ」と、周りの皆に言っていたようです。

秋祭りが大好きで、小学2年生の時から小太鼓を叩き、中学・高校の時は大太鼓として参加していました。今は見る側で、特に神楽、駒踊りのリズムは身体に染み付いていて、見ないまま帰ってくるのはあり得ないという程大好きです。

軽米高校に進学し、先輩・後輩の関係は厳しいと聞かされてい

ましたので、特に登・下校のあいさつは気が抜けませんでした。応援歌の練習も厳しく、1年生の時は恐怖でした。誰しもが通った道かもしれません。

4年間の東京での学生生活をするも、就職は地元という思いが強く、八戸のスーパーマーケットに就職。11年後転職し、今の会社(包装資材)にお世話になっています。ここでは、地元軽米のスーパー、食堂、仕出し店様など多くのお店と取引させていただいております。

人口減が顕著な昨今、私が高校生の際は約18,000人いましたが、今は9,000人を割っているでしょうか。少子化は全国の問題でもあります。学校の存続もまた懸念材料です。高校のOBとして、何としてでも残って欲しいと強く願っております。

同窓会 事務局だより

〈令和3年度 同窓会総会〉

5月17日(月)に令和3年度常任理事会を開催し、例年6月に開催しております同窓会総会について意見交換を行いました。令和3年度の同窓会総会及び懇親会は新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止することでまとめ、会則にはございませんが、現在の状況を鑑み常任理事会の審議をもって総会の決議として進めさせていただきました。

〈令和3年度活動報告〉

- 令和3年4月6日(火) 臨時役員会
- ・同窓会名簿データ管理業務について((株)サラト)
 - ・同窓会理事会・総会について(新型コロナウイルス対応)
 - ・役員改選について
- 令和3年4月6日(火) 会計監査
- 令和3年4月9日(金) 本校入学式
- 令和3年5月17日(月) 同窓会常任理事会
- ・同窓会名簿データ管理業務について((株)サラト)
⇒作成することで承認
 - ・総会について(新型コロナウイルス対応)
⇒総会は中止
 - ・役員改選について
⇒任期を延長
- 令和4年2月28日(月) 発行予定同窓会報発行(第49号)
- 令和4年2月28日(月) 同窓会贈呈式(証書ホルダー、クリアファイル贈呈)
- 令和4年3月1日(火) 本校卒業式

同窓会総会	新型コロナウイルス感染症防止のため中止
東京支部総会	新型コロナウイルス感染症防止のため中止
盛岡支部総会	新型コロナウイルス感染症防止のため中止
九戸支部総会	新型コロナウイルス感染症防止のため中止
八戸支部総会	新型コロナウイルス感染症防止のため中止



昨年の同窓会贈呈式の様子

〈平成30年度～令和3年度本部役員〉

会長 松浦満雄
副会長 中村正志、千葉千賀、小林福正、小林 浩、江刺家雅弘
監事 茶屋 隆、木戸口春彦



数字で見る軽米の変化

校長 金濱 千明

私、昨年度に引き続き、校長として二年目、以前教諭で六年勤めていますので通算八年目の勤務になりました。PTAおよび同窓会員の皆さまには、平素より本校の教育活動に対し、多大なるご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、私は定期的に軽米町のホームページを閲覧していますが、先頃（令和三年十二月）、町政要覧資料編がアップされましたので目を通してみました。私が以前、本校に勤めていた頃との変化に目が行ってしまうのですが、大きな特徴として「町民平均所得の向上」と「産業別就業割合の変化」があると感じました。町民一人当たりの平均所得については、昭和六〇年の一二二万円から、平成三〇年の二四二万円にほぼ倍増していると示されています。その要因となっているのが産業別就業割合の変化であるように思えます。

昭和六〇年が第一次産業の就業比率が五割弱であったのが、平成二七年には第一次産業以外の比率が七割強となっており、給与所得による生活基盤をもつ世帯が大きく増えたことが伺えます。大量生産・大量消費の時代と言われて随分経ちましたが、大量消費のためには現金が必要となる訳ですので、国内の標準的な生活をしようと思えば、軽米町におけるこのような変化は至極当然の変化であると受け止めます。

軽米町における産業構造の変化は軽高生の進路にも大きな影響を及ぼしました。高校卒業後の進学状況を示す指標「大学等進学率」

について、軽米町のデータを調べてみると昭和六〇年に十二％弱でしたが、平成二七年には四四％弱と大きく伸びております。進学にかかる経済的負担を賄える家庭が増えた結果であると考えられますし、子どもがより安定した収入を得られるよう望む保護者の意向も働いていると思います。かつて経済的な理由で進学を断念した生徒がいた事実を知る私としては、地域が豊かになっていくことを嬉しく思います。一方、就職は大きく減り、昭和六〇年に六六％だった就職率は、平成二七年は二〇％となっています。

進学率の向上は別の変化をもたらしました。人口減の問題です。人口の減少の原因は少子高齢化ですが、地方の市町村での人口動態では一八歳年齢の人口流出が顕著であり、そのうち何年か経て地元に戻ってくる割合が低いことが人口減の一因と言われており、軽米の場合も例外ではありません。生徒・保護者の希望する進路選択と言えば、その通りですが、多くの生徒が進学・就職を機に軽米を離れています。「地域の高校として何かできないか？」と思いを巡らせますが、現状としては、生徒一人ひとりにやがて軽米に戻ってくる選択肢があるようにと願い、「地域理解のための探究学習」を行っているに留まっています。軽米の良さや課題を知ったうえで、彼らがいっか軽米の将来と発展を担う人材となることを願うものです。

今後も皆さまからのご支援とご協力をお願い申し上げます。

令和4年2月18日現在

令和3年度 進学就職状況

【進学】

	男子		女子		計	
	進学実数	合格証数	進学実数	合格証数	進学実数	合格証数
国公立大学	2	2	3	3	5	5
私立大学	3	7	3	5	6	12
国公立短期大学					0	0
私立短期大学			1	1	1	1
医療系専門学校	4	5	5	6	9	11
専門学校(除医療系)	3	3	5	5	8	8
計	12	17	17	20	29	37

※進学実数については現時点での予定数である

【公務員内訳】

【県内】
国家公務員一般職 (2)
岩手県職員採用Ⅲ種 (2)
軽米町職員 (2)
自衛隊 一般曹候補生
自衛隊 自衛官候補生 (2)

【民間就職】

	男子	女子	計
管内	2	3	5
県内	1		1
県外	1	1	2
計	4	4	8

【民間就職内訳】

【D販売】	株式会社 ENEOSウイング
【Eサービス】	セコム山梨株式会社 グッドライフケア東京
【H生産】	株式会社 小松製菓 二戸時計工業株式会社
	株式会社 あべはんグループ 十文字チキンカンパニー 種鶏孵卵課
	【J建設】

令和3年度（令和4年3月）卒業生徒数
男子23名 女子22名 計45名

【医療系専門学校】
北海道どうぶつ医療専門学校
八戸市立看護学院
八戸看護専門学校 (3)
二戸高等看護学院 (2)
盛岡医療福祉専門学校 (2)
仙台医療福祉専門学校
埼玉県立高等看護学院

【専門学校・各種専修学校（医療系は除く）】

仙台工科専門学校
二戸高等技術専門学校
MCL盛岡公務員法律専門学校
北日本ヘア・スタイリストカレッジ
東北愛犬専門学校
大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校
北日本ハイテクニカルクッキングカレッジ
北上コンピュータアカデミー

<>内は延べ数

【公務員】

	男子		女子		計	
	就職実数	合格証数	就職実数	合格証数	就職実数	合格証数
管内	1	2			1	2
県内	2	2			2	2
県外	2	5			2	5
計	5	9	0	0	5	9

【国公立大学】

岩手大学 教育学部 小学校教育課程
岩手大学 理工学部 システム創成工学科
岩手県立大学 社会福祉学部 人間福祉学科
山形大学 人文社会学部 人文社会学科
山形大学 工学部 機械システム工学科

【私立大学】

八戸工業大学 工学部 生命環境学科 (2)
八戸学院大学 健康医療学部 看護学科
八戸学院大学 地域経営学部 地域経営学科 (4)
富士大学 経済学部 経済学科
石巻専修大学 理工学部 情報電子工学
仙台大学 体育学部 体育学科
東北文化学園大学 工学部 知能情報システム学科
東京女子体育大学 体育学部 体育学科
東海大学 国際化学部 国際コミュニケーション学科

【私立短期大学】

八戸学院大学短期大学部 幼児保育学科

